

【要約】

夫婦でホメオパシーを初体験。本人はいつも疲れていて、神経過敏だったのが、体の底力がアップし精神的にも動揺、怖がり過ぎる感覚が減少。ご主人は変化が顕著で全然怒らなくなり、おだやかになり、ホメオパシーをとることによって、夫婦間の危機を乗り越えられた。

●ケース 女性 53 歳 S さん

【主訴】 燃え尽き症候群のような感じでいつも疲れている。鬱っぽい。神経過敏。

【具体的内容】

すごく弱っている。エネルギーが薄くなっている感じ。常に疲労感で、そこで頑張るから過労になる。鬱っぽく、落ち込みやすい。

旦那さんが家で曲作りの創作的な仕事をしている人で、夜中に活動していた。とてもエネルギーに作っているから、家の中で一緒に居ると S さんもエネルギー的に反応する感じ。被害者な感じになる。八つ当たりされる。そして旦那さんも S さんが部屋の移動で近くを通ると、相手の動きにピリッとなって神経過敏になって怒りやすい。部屋に区切りがないから、逃げ場がない。

【レメディー選択】 2021/8/20

Phos.30C

Sep.30C

Bell.30C

Nux-v.30C

ペットボトルの水に入れて取る。

【選択の根拠】

Phos.・・・境界線が薄く、相手と容易につながって影響を受けることから選択。マテリアメディカにある「心配性・過敏症」「性格が優しく同情的」「エネルギーを吸い取られ消耗する」から。また、全体的に弱っているので「全細胞の機能を高める」特徴（マテリアメディカ）から。

Sep.・・・マテリアメディカの特徴「燃え尽き症候群、疲れ切っている」「体が重い」「疲労しているのに、さらに頑張る」から選択。

Bell.・・・S さんにも旦那さんにも怒りがあるので選択。マテリアメディカの「大変怒りっぽく触られたくない」から。

Nux-v.・・・旦那さんの精力的に夜中に活動するところ。マテリアメディカの「短気で怒りっぽい」「外的刺激に過剰に反応」「神経質で緊張しやすい」から選択。

【経過】

Sさんは初ホメオパシーということもあり、一種類ずつ取ってどう感じるか試したり、少しずつレメディーを足していったとのこと。旦那さんにも飲ませるため、毎日2リットルの水に溶かして取った。買い足したりしながら、トータル2ヶ月ほど取っていた。

①Phos.取った・・・すぐに「あ、なんか違う。上がったな」という感じがした。それもなにか静かな底力な感じ。静かに底力が湧いてきて、アップする感じ。境界線が見えてきた。今までくっついちゃってたのが、境界線がわかってきた。

②次に Sep.・・・水に溶かしてフォスフォラスとシーピアと一緒に取る。シーピアを取ったら「合ってるな」というマイホメオパシー的な感じがした。やっぱり底力がアップし、少し「安定」が出てきた。

③Bell.と Sep.・・・怒りがあんまり出なくなった。怒りが出ても、怒ったままじゃない。怒りが緩和される感じ。「怒らなくてもいいか」っていう感じ。

旦那様・・・変化が顕著で、全然怒らなくなった。おだやかになって、頭から出ていた怒りのカピカピがおさまって静かになった。以前は、怒りがいつ湧いてくるかわからない感じで、怒りを抑えてても頭から怒りがカピカピはみ出てる感じだった。ほんとすぐ、1～2日で変わった。

その後1週間で更にだいぶ変わった。洗われた、って感じ。

Sさん・・・相手に対する反応が減った。動揺したり、怖がりすぎる感じが減った。

④その後、Nux-v.も取り始めた・・・よかった。多動、忙しすぎる感じが、少し緩和されてきたよう。

【考察】

Sさんは旦那さんには何も言わず飲ませていたとのこと、旦那さんの変化がすごい！と大変興奮して語ってくれた。心や精神に関わるどころから、体にも影響が出ていて、体力が底辺にあったところから徐々に復活したことによって、夫婦の危機も免れた。選択したレメディーも、楽しみながら取ってもらったようで、Sさんはすっかりホメオパシーのファンになり、今も本を見ながら自分で選んで取ったりしているとの事です。ホメオパシーの恩恵が親友に伝わって本当に嬉しい。